

希学園 第411回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第411回公開テスト 小3算数 解説動画(2026年8月2日実施)	https://vimeo.com/1214893962/0ac297aa2a

1	(1)	160	(2)	78	(3)	219	(4)	94
	(5)	149	(6)	83	(7)	3600 (秒)	(8)	8 (mL)
	(9)	22 (倍)	(10)	33 (こ)	(11)	(9月) 27 (日)	(12)	2 (倍)

2	(1)	12 こ	(2)	9 こ
---	-----	------	-----	-----

3	(1)	480 円	(2)	200 円
---	-----	-------	-----	-------

4	(1)	7 cm	(2)	5 cm
---	-----	------	-----	------

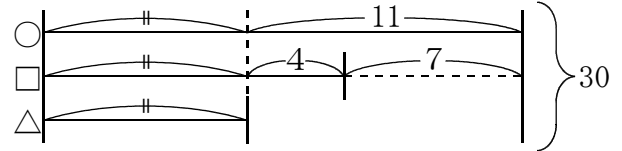
5	(1)	10 点	(2)	9 通り
---	-----	------	-----	------

6	(1)	0 対 2	(2)	4 対 4
---	-----	-------	-----	-------

- 1
- (5) $\square - 74 = 75$
 $\square = 75 + 74 = \underline{149}$
- (6) $45 + \square + 55 = 183$
 $\square = 183 - 55 - 45 = \underline{83}$
- (7) 1時間 = 60分, 1分 = 60秒より,
 $60 \times 60 = \underline{3600}$ (秒)
- (8) 1 dL = 100 mL
 $1\text{ dL } 54\text{ mL} + 1\text{ dL } 54\text{ mL} = 2\text{ dL } 108\text{ mL} = 3\text{ dL } \underline{8}\text{ mL}$
- (9) $2 \times \square = 40 + 4 = 44$
 $44 = 22 \times 2$ より, $\square = \underline{22}$ (倍)
- (10) 百の位に, 100から120までの21こ。
十の位に, 110から119までの10こ。
一の位に, 101と111の2こ。
 $21 + 10 + 2 = \underline{33}$ (こ)ある。
書いて数えるのもよい。
- (11) 7日ずつたしていく。8月2, 9, 16, 23,
30, 37, で, $37 - 31 = 6$ より, これは9
月6日。6, 13, 20, 27で, 9月27日。
- (12) $\text{ア} + \text{イ} = \text{ウ} = \text{ア} + \text{ア} + \text{ア} - \text{ウ}$ なので,
 $\text{ア} + \text{イ} = \text{ア} + \text{ア} + \text{ア} - (\text{ア} + \text{イ}) = \text{ア} + \text{ア} - \text{イ}$
 $\text{イ} = \text{ア} - \text{イ}$ より, アはイの2倍の大きさ。

- 2
- (1) ●▲▲■▲▲■▲▲ のくり返し。
これを1セットとし, その中に, ●は1こ, ■は
2こ, ▲は6こある。3こ目の●とは2セットと
次の●なので, ▲は, $6 \times 2 = \underline{12}$ (こ)ある。
- (2) 1セットで▲は●より, $6 - 1 = 5$ (こ)多い。
 $21 = 5 + 5 + 5 + 5 + 1$ で, ■が最後なので,
4セットと, ●▲▲■まで。よって■は,
 $2 \times 4 = 8$, $8 + 1 = \underline{9}$ (こ)ある。

- 3
- (1) 問題文から, 右の図。360円が, 目もり3つぶん。
 $360 = 120 \times 3$ より, 目もり1つぶんは120円。あつき君のはじめもっていたお金は,
 $120 + 360 = \underline{480}$ (円)
- (2) $120 - 100 = 20$ (円)が, かずや君の半分。
よってかずや君は, $20 \times 2 = 40$ (円)残った。
もとのかずや君は, $120 + 120 = 240$ (円)
もっていたので, $240 - 40 = \underline{200}$ (円)

- 4
- (1) ㊲, ㊱, ㊳の長方形はすべてたての長さが同じなので, まわりの長さのちがいは, 横の長さ, 図の○, □, △によるもの。
 $14 = 7 \times 2$ より, ○は□より7cm長い。
- (2) $22 = 11 + 11$ より, ○は△より11cm長い。
また, $\text{○} + \text{□} + \text{△} = 30$ (cm)より, 下の図。

 $11 - 7 = 4$ より, □は△より4大きい。
つまり目もり3つぶんと, 4と11をたして30。
 $30 - 4 - 11 = 15 = 5 \times 3 \rightarrow \triangle$ は5cm。

- 5
- (1) 1の目を6にして, $4 + 6 = \underline{10}$ (点)
- (2) かずや君は11点か12点で, うら返しがなければ, $5 + 6$ か $6 + 6$ の形。5と6になるうら返しにより, $5 + 1$, $2 + 6$, $1 + 6$ が加わる。赤と青の区別で, $5 + 6$, $5 + 1$, $2 + 6$, $1 + 6$ はそれぞれ2通り, $6 + 6$ は1通りの出た目がある。全部で出た目は, $2 \times 4 + 1 = \underline{9}$ (通り)

- 6
- (1) チーム㊲は得点が2点なのに2勝1敗。それは, 勝った2試合がともに1対0のとき。失点は2点なので, 負けた1試合は0対2。
- (2) 勝ち点から考えて, 引き分けたのはチーム㊱と㊳。この2チームはともに1勝1敗1引き分け。また, チーム㊱は1勝2敗で, 得点が1, 失点が2。これは勝った1試合が1対0, 負けた2試合がともに0対1のとき。よってチーム㊲に2対0で勝ったチームはチーム㊱に0対1で負けている。また, あと1試合は引き分け (=得点と失点と同じ) なので, $2 - 1 = 1$ で, このチームの得点は失点より1点多い。それはチーム㊱で, その得点は6点。よって, $6 - 2 = 4$ より, 4対4の引き分け。表をすべてうめると, 次のようになる。

チーム名	対㊲	対㊱	対㊳	対㊴	得点	失点	勝ち点
チーム㊲	対角線	0対2 負け	1対0 勝ち	1対0 勝ち	2	2	6
チーム㊱	2対0 勝ち	対角線	4対4 引き分け	0対1 負け	6	5	4
チーム㊳	0対1 負け	4対4 引き分け	対角線	1対0 勝ち	5	5	4
チーム㊴	0対1 負け	1対0 勝ち	0対1 負け	対角線	1	2	3

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10